

# ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは  
タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



市内通話料でOK  
ナビダイヤル

## 0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00です。  
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



市内通話料でOK  
ナビダイヤル

## 0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。  
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

リファレンスマニュアルに関して

取扱説明書(本書)では、本機の各機能について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。

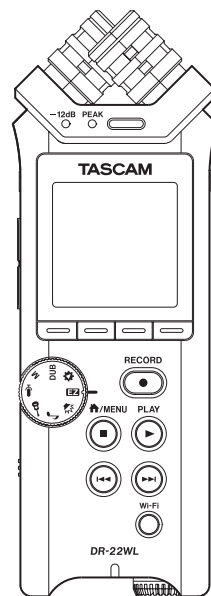
リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

# TASCAM

# DR-22WL

## Linear PCM Recorder






D01318901A









## 取扱説明書

## 安全にお使いいただくために



製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。




	<b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<p>万一、異常が起きたら煙が出たり、変なにおいや音がするときは機器の内部に異物や水などが入ったときはこの機器を落としたり、カバーを破損したときはすぐに機器本体の電源を切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
	<p>ACアダプターのコードを傷つけない ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）をご依頼ください。</p> <p>別売のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> <p>航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運航の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。</p>
	<p><b>ACアダプターの電源プラグにほこりをつけない</b> ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的（年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
	<p>この機器のカバーは絶対を外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>






	<b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	<p>移動させる場合は、電源をオフ（スタンバイ状態）にし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する 電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。また、モニター機器などを破損する原因となることがあります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p>
	<p>この機器には、別売の専用ACアダプターや電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>くらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p> <p>ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
	<p>濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>
	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気のある多雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

## 電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

	<b>警告</b> 乾電池に関する警告
	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

	<b>警告</b> 電池に関する警告
	電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

	<b>注意</b> 電池に関する注意
	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
	保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。
	使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

## 電波に関する注意

### 機器認定について

本製品には、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。

無線設備名：211-140505

次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の認証ラベルをはがすこと

### Wi-Fi機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・化学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

本機は、2.4GHz帯を使用する無線機器です。

変調方式としてDSSS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

## 目次

はじめに	4
リファレンスマニュアルについて	4
本製品の構成	4
商標および著作権に関して	5
設置上の注意	5
結露について	5
製品のお手入れ	5
ユーザー登録について	5
アフターサービス	6
各部の名称	6
トップパネル	6
フロントパネル	6
左サイドパネル	6
右サイドパネル	7
ボトムパネル	7
ホーム画面	7
準備	8
電源の準備	8
電源をオンにする	8
言語を選択する	8
内蔵時計の設定	8
電源をオフにする	8
モニター用機器を接続する	9
基本的なメニューの操作方法	9
メニュー構成	9
録音	9
録音画面	9
録音する	10
録音メニュー構成	11
再生	11
再生する	11
再生するファイルを選択する(スキップ)	11
再生の音量を調節する	11
いろいろな再生機能を使う	11
再生メニュー構成	11
パソコンと接続する	12
パソコンとUSB接続する	12
パソコンへファイルを取り出す、パソコンから ファイルを取り込む	12
パソコンとの接続を解除する	12
各種設定および情報表示	12
内蔵スピーカーをオフにする	12
環境設定(システム設定)	12
本体とスマートフォンをWi-Fiで接続する	12
専用アプリケーション(DR CONTROL)の 入手・インストール方法	12
Wi-Fiモードの選択	13
本機と外部機器(スマートフォン/タブレット/パソコン) を直接Wi-Fi接続する(直接接続モード) Wi-Fiモードを 直接接続に設定する	13
本機とスマートフォンをはじめてWi-Fi接続する	13
本機とスマートフォンをWi-Fi接続する場合(2回目以降)	14
本機と外部機器(スマートフォン/タブレット/パソコン) をルーターを経由してWi-Fi接続する	14
(ルーター経由モード)	14
スマートフォンからの本機のリモート操作	16
本機からパソコンへのファイル転送	16
こんなことをするには	17
メッセージ	19
トラブルシューティング	20
仕様	21
定格	21
入出力	21
オーディオ性能	21
録音時間	21
Wi-Fi	21
一般	22

## はじめに

このたびは、TASCAM DR-22WLをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)からダウンロードすることができます。

本製品はアナログ・デバイス社製16/32ビットBlackfin®組み込みプロセッサを搭載し製品のデジタル信号処理と制御を行っています。このBlackfin®プロセッサを搭載することにより製品の高性能化・省電力化を実現しています。

## リファレンスマニュアルについて

取扱説明書(本書)では、本機の各機能について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。

リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)からダウンロードすることができます。

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。梱装箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体 .....x1
- microSDメモリーカード(本体差し込み済) .....x1
- 単3形アルカリ乾電池 .....x2
- USBケーブル .....x1
- 取扱説明書(本書、保証書付き) .....x1

## 商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- AndroidおよびGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Blackfin® and the Blackfin logo are registered trademarks of Analog Devices, Inc.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関する第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

## 設置上の注意

- 動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質劣化の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
  - 直接雨などの水が当たる場所
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）が発生することがあります。この場合は、本機を遠ざけるか方向を変えてください。

- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

## 結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

## 製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

## ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

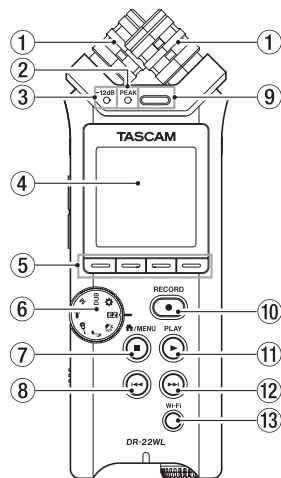
<https://tascam.jp/jp/login>

## アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック修理センター（巻末に記載）が修理いたします。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。  
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。  
本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記録内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
  - 型名、型番（DR-22WL）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。各部の名称

## 各部の名称

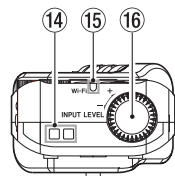
### トップパネル



- ① 内蔵ステレオマイク
- ② PEAKインジケーター
- ③ -12dBインジケーター
- ④ ディスプレー
- ⑤ ファンクションボタン
- ⑥ シーンダイヤル
- ⑦ 家/MENU/■ボタン
- ⑧ 止ボタン
- ⑨ 内蔵モノラルスピーカー
- ⑩ RECORDボタン / RECORDインジケーター

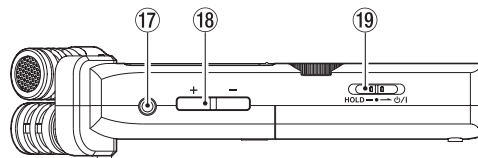
- ⑪ PLAYボタン
- ⑫ 右向きボタン
- ⑬ Wi-Fiボタン

### フロントパネル



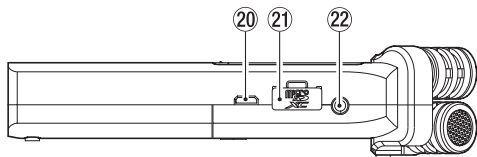
- ⑭ ストラップホルダー
- ⑮ Wi-Fiインジケーター
- ⑯ INPUT LEVELボリューム

### 左サイドパネル



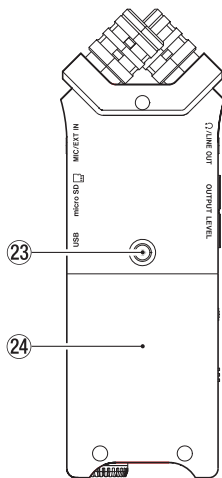
- ⑰ 〇 / LINE OUT端子
- ⑱ OUTPUT LEVEL (+ / -) ボタン
- ⑲ HOLD / 1/1 スイッチ

## 右サイドパネル



- ⑳ USB端子
- ㉑ microSDカードスロット
- ㉒ MIC/EXT IN端子

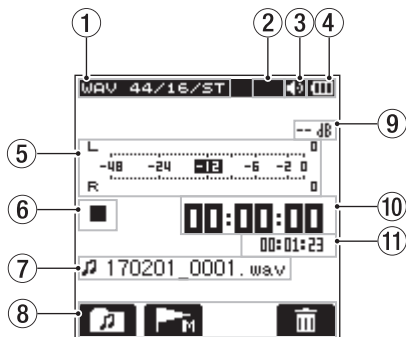
## ボトムパネル



- ㉓ 三脚取り付け用穴 (1 / 4インチ)
- ㉔ 電池ケース

## ホーム画面

停止中に表示される最も標準的な画面です。



- ① 再生ファイル形式表示  
再生するファイル形式を表示します。
- ② プラグインパワーのオン／オフ状態表示  
表示なし：プラグインパワー機能オフ  
☑️：プラグインパワー機能オン
- ③ モニター出力表示  
🔊：内蔵スピーカーから出力します  
🎧：ヘッドホンから出力します
- ④ 電源供給の状態表示  
電池駆動時は、電池残量に応じて目盛りが表示されます (🔋、🔋、🔋)。  
目盛り表示がなくなると ☐ が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。  
別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E) 使用時およびUSBバスパワー駆動時は、🔌 を表示します。
- ⑤ レベルメーター

## ⑥ レコーダーの動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	停止中
⏸	一時停止中
▶	再生中
▶▶	早送り中
◀◀	早戻し中
▶▶▶	次のファイルの先頭にスキップ
◀◀◀	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

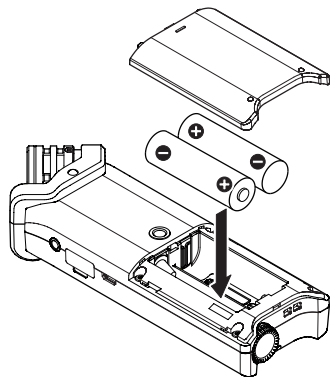
- ⑦ ファイル名表示
- ⑧ ファンクションボタン機能表示
- ⑨ ピーク値のデシベル (dB) 表示
- ⑩ 経過時間表示  
再生中のファイルの経過時間 (時：分：秒) を表示します。
- ⑪ 残量時間表示  
再生中のファイルの残量時間 (時：分：秒) を表示します。

## 準備

### 電源の準備

#### 単3形電池で使用する

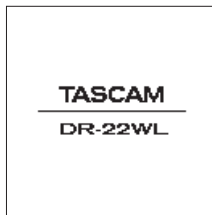
1. 本機の裏面にある電池ケースふたをスライドして取り外します。
2. 電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を2本セットします。
3. 電池ケースふたを取り付けます。



- 電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別を正しく行うために、システム設定 ページの 電池タイプ 項目で、使用する電池の種類を設定してください。(初期値：アルカリ 乾電池)

### 電源をオンにする

HOLD / 冫/1 スイッチを「冫/1」方向にスライドし、TASCAM DR-22WL (起動画面) が表示されたら離します。本機が起動してホーム画面が表示されます。



### 言語を選択する

本機は、ディスプレイに表示される言語を切り換えることができます。お買い上げ後にはじめて電源をオンにしたとき、メニューやメッセージに使用する言語を設定する言語 画面が表示されます。また、システム設定 画面の言語 項目で再設定することができます。

1. F2 ボタンとF3 ボタンを使ってカーソルを移動し、言語を選択します。
2. 選択が完了したら、F4 ボタンを押して確定します。

#### 間違った言語を選択してしまった場合

HOLD / 冫/1 スイッチで電源をオフにしたあと、 / MENU / ボタンを押しながらHOLD / 冫/1 スイッチで電源をオンにしてください。

言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

### 内蔵時計の設定

初回 (またはしばらく電池を外しておいた後) の電源投入時には、起動画面が表示される前に、日時を設定する日時設定 画面が表示されます。



F4 ボタンを押してカーソル (反転表示部) を移動し、F2 ボタンとF3 ボタンを使って日時を設定します。設定が完了したら、F1 ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

### 電源をオフにする

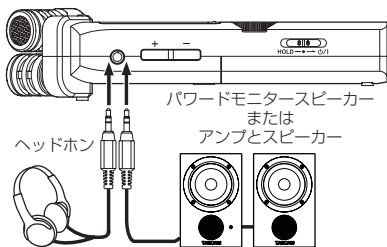
電源オン時に、HOLD / 冫/1 スイッチを「冫/1」方向にスライドし、「TASCAM DR-22WL 電源をオフにしています」と表示されたら離します。数秒後、電源がオフになります。



## モニター用機器を接続する

ヘッドホンで聴く場合は、Ω /LINE OUT端子にヘッドホンを接続してください。

外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、Ω /LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。



## 基本的なメニューの操作方法

1. **↑/MENU/■** ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. **F1** **▶▶** ボタンを押して、各種メニューページを表示します。
3. **F2** **▲** ボタンと**F3** **▼** ボタンを使って、設定する項目を選択（反転表示）します。
4. **F4** **☑** ボタンを押して、パラメーター表示が開きます。
5. **F2** **▲** ボタンと**F3** **▼** ボタンを使って設定を変更し、**F4** **☑** ボタンを押して設定を決定します。**F1** **✕** ボタンを押すと、変更を破棄します。
6. 必要に応じて、手順2.～6.を繰り返し、各項目を設定します。
7. 設定が終了したら、**↑/MENU/■** ボタンを押してホーム画面に戻ってください。

## メニュー構成

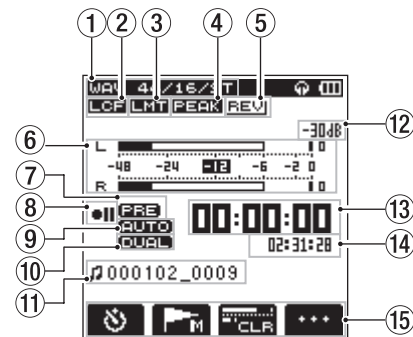
### MENU

録音設定	録音のための基本設定
ツール	再生ファイルに対する便利機能
システム設定	機器を使いやすくする基本設定
インフォメーション	情報表示

## 録音

### 録音画面

録音待機中または録音中は、以下の録音画面を表示します。



- ① **録音モード表示**  
録音ファイルの形式、サンプリング周波数、ステレオ/モノラルを表示します。
- ② **ローカットフィルターのオン/オフ状態表示**  
表示なし：ローパスフィルターオフ  
**LCF**：ローパスフィルターオン
- ③ **リミッター機能のオン/オフ状態表示**  
表示なし：リミッター機能オフ  
**LMT**：リミッター機能オン
- ④ **ピークリダクション機能のオン/オフ状態表示**  
表示なし：ピークリダクション機能オフ  
**PEAK**：ピークリダクション機能オン

## ⑤ リバープのオン／オフ状態表示

アイコン	オン／オフ状態
表示なし	リバープオフ
	リバープオン (出力音に残響音を加える状態)
	リバープオン (入力音に残響音を加える状態)

## ⑥ レベルメーター

入力音のレベルを表示します。  
オートレック機能がオンのとき、オートレック機能が働くスタートレベル値を枠として表示します。

## ⑦ ブリレック機能の設定表示

表示なし：ブリレック機能オフ  
：ブリレック機能オン

## ⑧ レコーダー動作状態表示

表示	内容
	録音待機中または録音一時停止中
	録音中

## ⑨ オートレック機能のオン／オフ状態表示

表示なし：オートレック機能オフ  
：オートレック機能オン

## ⑩ デュアルフォーマット録音機能のオン／オフ状態表示

表示なし：デュアルフォーマット録音機能オフ  
：デュアルフォーマット録音機能オン

## ⑪ ファイル名表示

録音するファイルに付けられるファイル名を表示します。

## ⑫ ファンクションボタン機能表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

## ⑬ ピーク値のデシベル (dB) 表示

録音レベルのピーク値をデシベル表示します。  
録音レベルがオーバーレベル (-2dB以上) のとき を表示します。

## ⑭ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間 (時：分：秒) を表示します。

## ⑮ 録音残時間

microSDカードに録音が可能な残時間 (時：分：秒) を表示します。

## 録音する

本機は、シーンダイヤルを選ぶことで録音したいシーン(場面) に合わせた簡単な録音ができます。

用途	マーク	名称
簡単にすぐ録りたい		EASY
大きな音を録りたい		LOUD
コンサートや合唱を録りたい		MUSIC
ギターなどの楽器を録りたい		INSTRUMENT
インタビューを録りたい		INTERVIEW

## 簡単にすぐ録音する

1. シーンダイヤルを に設定します。
2. RECORDボタンを押すと、直ぐに録音を開始します。

## メモ

入力レベルは、自動で調整されます (変更はできません)。

3. 録音を終了するには、/MENU/ ボタンを押します。

## シーン(場面)を選んで録音する

1. 録音したいシーン ( / / / / ) に合わせて、シーンダイヤルを選びます。
2. RECORDボタンを押して、録音待機状態にします。
3. INPUT LEVELボリュームを使って、入力レベルを調節します。  
良い音で録音するために、できるだけ大きな音で録音することをお奨めします。最適なレベルに設定するための目安として、-12dBインジケータ (緑) が点灯するように入力レベルを上げてください。また、入力レベルが大きすぎると音が歪む可能性があるため、PEAKインジケータ (赤) が点灯する場合は入力レベルを下げてください。
4. 再度RECORDボタンを押すと、録音が始まります。
5. 録音を終了するには、/MENU/ ボタンを押します。

## マニュアルモードで録音する

1. シーンダイヤルを に設定します。
2. RECORDボタンを押して、録音待機状態にします。
3. INPUT LEVELボリュームを使って、入力レベルを調節します。  
良い音で録音するために、できるだけ大きな音で録音することをお奨めします。最適なレベルに設定するための目安として、-12dBインジケータ (緑) が点灯するように入力レベルを上げてください。また、入力レベルが大きすぎると音が歪む可能性があるため、PEAKインジケータ (赤) が点灯する場合は入力レベルを下げてください。
4. 再度RECORDボタンを押すと、録音が始まります。録音が始まるとRECORDインジケータ (RECORDボタンの周囲) が点灯し、ディスプレイには、録音経過時間および録音残時間が表示されます。
5. 録音を終了するには、/MENU/ ボタンを押します。

## 録音の一時停止

同じファイルのまま、録音を一時停止することができます。

1. 録音中に、RECORDボタンを押します。
2. 再度RECORDボタンを押すと、録音を再開します。

## 録音メニュー構成

### 録音設定

録音形式	ファイル形式設定 WAV : 16/24bit, MP3 : 32k ~ 320kbps
サンプル	サンプリング周波数設定 44.1k/48k/96kHz (96kHzは WAVのみ)
チャンネル	ステレオかモノラルの選択 モノラル、ステレオ
プリレック	プリレック機能の設定 入、切
自動機能	トラックインクリメント機能と オートレック機能、およびマーク機 能の設定 自動分割、オートレック、 オートマーク、ピークマーク
デュアル	デュアルフォーマット録音の設定 切、 MP3 : 32k ~ 320kbps
番号リセット	ファイル名に付く数字の初期化設定
ピーク保持	ピーク保持機能の設定 切、1秒、保持

## 再生

### 再生する

ホーム画面で停止中にPLAYボタンを押すと、再生を始めます。

### 一時停止する

ホーム画面で再生中にPLAYボタンまたは▶/MENU/■ボタンを押すと、その位置で再生を停止します。(一時停止)

### 早戻し/早送りをする(サーチ)

ホーム画面で◀◀ボタン/▶▶ボタンを押し続けると、早戻し/早送りサーチを行います。



### 再生するファイルを選択する(スキップ)

停止中または再生中に、◀◀ / ▶▶ボタンを使って再生したいファイルを選択します。ファイルの途中で◀◀ボタンを押すとそのファイルの先頭にスキップし、ファイルの先頭で▶▶ボタンを押すと次のファイルへスキップします。

### 再生の音量を調節する

Ω / LONE OUT端子から出力される音量を、ホーム画面表示中にOUTPUT LEVEL (+ / -) ボタンを使って調節します。

### いろいろな再生機能を使う

1. 停止中/一時停止中/再生中にシーンダイヤルを「🌟」に設定します。
2. F3  ボタンで項目を選択し、F4  ボタンを押すと、各種値を選択できるようになります。再生機能の詳細は、リファレンスマニュアルをご覧ください。

## 再生メニュー構成

### ツール

マークスキップモード	マークの移動モードの設定 切 / 入
XRI モード	XRI機能の設定 切 / 入 / 入+GPS
ファイル分割	手動でファイルを分割する
マーク分割	自動でファイルを分割する
リバーブ	リバーブの設定 切 / 入、タイプ、 レベル、モード
スピーカー	内蔵スピーカーの設定 切 / 入
メトロノーム	メトロノーム機能を使う テンポ、ビート、音色、 レベル

---

## パソコンと接続する

本機のmicroSDカードの中の音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中の音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。

---

## パソコンとUSB接続する

1. 本機をパソコンと付属のUSBケーブルで接続します。電源がオフの場合は、オンして下さい。
2. **USBモード** 画面で、「**PC接続**」を選択し**F4**  ボタンを押すと本機がパソコンに接続され、「**USB 接続中**」が表示されます。
3. 《**コンピュータ**》を開くと、パソコンのディスプレイ上に、本機が《**DR-22WL**》というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

---

## パソコンへファイルを取り出す、パソコンからファイルを取り込む

パソコンのディスプレイ上の《**DR-22WL**》ドライブをクリックすると、《**MUSIC**》フォルダーと《**UTILITY**》フォルダーが表示されます。

パソコンへファイルを取り出す場合は、《**MUSIC**》フォルダーを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。

パソコンからファイルを取り込む場合は、パソコンの任意の音声ファイルを《**MUSIC**》フォルダーにドラッグ&ドロップします。

---

## パソコンとの接続を解除する

パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。

シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

---

## 各種設定および情報表示

---

### 内蔵スピーカーをオフにする

**HOME/MENU/** **OFF** ボタン → ツール → **スピーカー** 項目を「**切**」に設定します。

---

### 環境設定（システム設定）

本機を快適に使うためのさまざまな設定、初期化やmicroSDカードのフォーマットなどを行います。

1. **HOME/MENU/** **OFF** ボタン → **システム設定** → **環境設定** 項目を選択し、**F4**  ボタンを押します。
2. 各機能の項目で、必要な設定を行います。

---

## 本体とスマートフォンをWi-Fiで接続する

### 注意

本製品は、販売地域での法令および規制に準拠するように設計されており、必要に応じた表示がされています。本製品は、以下の国/地域での使用が承認されています。

アメリカ合衆国、カナダ、欧州（EU加盟国）、オーストラリア、ニュージーランド、日本

上記以外の国々において無線機能を使用した場合、一部の国ではその国の電波法に違反となる恐れがあります。

上記以外の国々においての使用については、当社は一切の責任を負いかねます。

無料の専用アプリケーション（DR CONTROL）を使って、本体を遠隔操作することができます。再生、停止などのトランスポートコントロールだけでなく、入力レベルの調整や録音したファイルの転送などもWi-Fi経由で行うことができます。

---

## 専用アプリケーション（DR CONTROL）の入手・インストール方法

1. スマートフォンをインターネットに接続してください。
2. Android端末の場合はGoogle Playから、iOS端末の場合はApp Storeから専用アプリケーション（DR CONTROL）を検索し、ダウンロードおよびインストールを実施してください。

## Wi-Fiモードの選択

使用環境に合わせて、2つの接続方式が選択可能です。

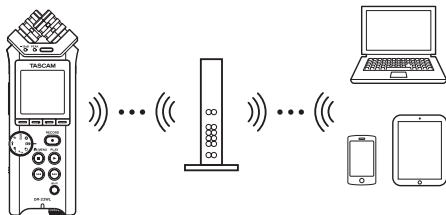
### 直接接続モード

本機がアクセスポイントとして働き、パソコンやスマートフォンなどの外部機器と本機をWi-Fi接続することが可能です。



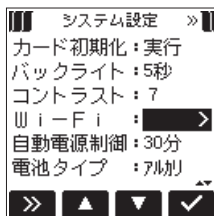
### ルーター経由モード

既存のWi-Fiルーターを介してパソコンやスマートフォンなどの外部機器とWi-Fi接続することにより、より自由度の高い設置が可能です。また、インターネットとの同時接続が可能になり、ファイルの共有、位置情報の確認等がより快適に行えます。



## 本機と外部機器（スマートフォン／タブレット／パソコン）を直接Wi-Fi接続する（直接接続モード）Wi-Fiモードを直接接続に設定する

1. **HOME/MENU/■** ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. **F1** **▶▶** ボタンを押して、システム設定 ページを表示します。
3. **F2** **▲** ボタンと**F3** **▼** ボタンを使って、Wi-Fi 項目のパラメーターを選択（反転表示）します。



4. **F4** **✓** ボタンを押して、Wi-Fi 画面を表示します。
5. **F2** **▲** ボタンと**F3** **▼** ボタンを使って、モード項目のパラメーターを選択（反転表示）し、**F4** **✓** ボタンを押します。
6. **F2** **▲** ボタンと**F3** **▼** ボタンを使って、Wi-Fi モードを「直接接続」に設定します。

選択肢：直接接続（初期値）、ルーター経由



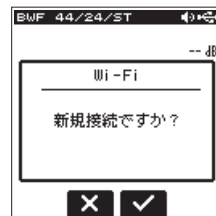
## 本機とスマートフォンをはじめてWi-Fi接続する

本機とスマートフォンのWi-Fi接続では1対1での接続となりますので、ルーターなどの外部機器、およびWi-Fiネットワーク環境は必要ありません。本機とスマートフォンだけで接続を行うことができます。

### メモ

本機とスマートフォンをWi-Fi接続中、スマートフォンを外部のWi-Fiネットワークに接続することはできません。

1. 本機のWi-Fiボタンを押して、Wi-Fiインジケータを点滅させます。ディスプレイに新規接続であるかどうかを問うポップアップメッセージ「新規接続ですか？」が表示されます。
2. はじめての接続なので、**F3** **✓** ボタンを押します。



3. ディスプレーに「SSID」と「パスワード」が表示されます。



### メモ

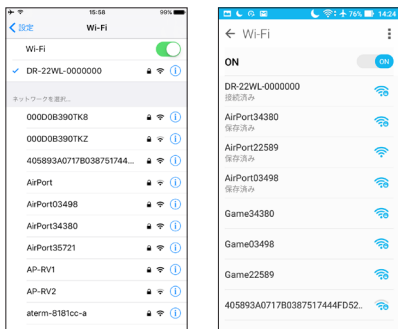
「SSID」とは、無線LANにおけるアクセスポイント（無線LAN機器）の名称です。

#### 4. 端末の《設定》→《Wi-Fi》を選択します。



[ iOS端末の表示例 ] [ Android端末の表示例 ]

#### 5. 端末のWi-FiをオンにするとWi-Fi機器のSSID一覧が表示されますので、本機のディスプレイに表示されているSSIDを選択してください。



[ iOS 端末の表示例 ] [ Android 端末の表示例 ]

6. 端末にパスワード入力画面が表示されますので、本機のディスプレイに表示されているパスワードを入力します。
7. 本機とスマートフォンとのWi-Fi接続が確立され、本機のWi-Fiインジケータが点灯になります。

#### メモ

上記の端末の操作説明は、スマートフォンの設定例です。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

#### 本機とスマートフォンをWi-Fi接続する場合（2回目以降）

一度接続を行った本機とスマートフォンにおいては、2回目以降はSSIDを選択するだけで接続することができます。

1. 本機のWi-Fiボタンを押して、Wi-Fiインジケータを点滅させます。ディスプレイに新規接続であるかどうかを問うポップアップメッセージ「新規接続ですか?」が表示されます。
2. 一度接続を行ったスマートフォンと接続をするので、F2 **X** ボタンを押します。



3. ディスプレイのポップアップメッセージが消え、スマートフォンとの接続待ち状態になります。
4. 端末の《設定》→《Wi-Fi》を選択します。
5. 端末のWi-FiをオンにするとWi-Fi機器のSSID一覧が表示されますので、本機のディスプレイに表示されているSSIDを選択してください。
6. 本機とスマートフォンとのWi-Fi接続が確立され、本機のWi-Fiインジケータが点灯になります。

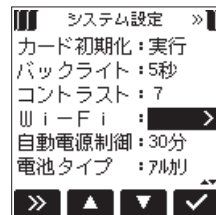
#### メモ

上記の端末の操作説明は、スマートフォンの設定例です。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

#### 本機と外部機器（スマートフォン／タブレット／パソコン）をルーターを経由してWi-Fi接続する（ルーター経由モード）

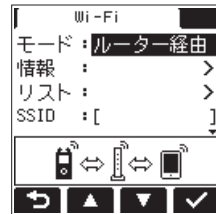
##### Wi-Fiモードをルーター経由に設定する

1. **HOME**/MENU/**POWER** ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. F1 **RIGHT** ボタンを押して、システム設定 ページを表示します。
3. F2 **UP** ボタンとF3 **DOWN** ボタンを使って、Wi-Fi 項目のパラメーターを選択（反転表示）します。



4. F4 **CHECK** ボタンを押して、Wi-Fi 画面を表示します。
5. F2 **UP** ボタンとF3 **DOWN** ボタンを使って、モード項目のパラメーターを選択（反転表示）し、F4 **CHECK** ボタンを押します。
6. F2 **UP** ボタンとF3 **DOWN** ボタンを使って、Wi-Fi モードを「ルーター経由」に設定します。

選択肢: 直接接続（初期値）、ルーター経由



## 本機と外部ルーターを接続する

1. Wi-Fi 画面を表示中にF2 ▲ ボタンとF3 ▼ ボタンを使ってリスト項目を選択し、F4 ✓ ボタンを押してパラメーターを選択（反転表示）します。



2. F4 ✓ ボタンを押して、SSIDリスト 画面を表示します。



3. SSIDリスト 画面に表示されたリストから、接続したいルーターをF2 ▲ ボタンとF3 ▼ ボタンを使って選択（反転表示）し、F4 ✓ ボタンを押して設定します。

4. SSID 項目に選択されたSSIDが表示されます。



### メモ

SSIDは、Wi-Fi 画面の SSID 項目で直接入力することも可能です。

その際は、SSID 項目で◀◀ボタンまたは▶▶ボタンでカーソルを移動し、F2 ▲ ボタンとF3 ▼ ボタンを使って文字を設定します。

F4 ✓ ボタンを押して、SSIDを確定します。

5. Wi-Fi 画面を表示中にF2 ▲ ボタンとF3 ▼ ボタンを使ってパスワード項目を選択（反転表示）し、F4 ✓ ボタンを押します。
6. パスワード 項目で◀◀ボタンまたは▶▶ボタンでカーソルを移動し、F2 ▲ ボタンとF3 ▼ ボタンを使ってルーターのパスワード（暗号キー）を入力します。  
F4 ✓ ボタンを押して、ルーターのパスワード（暗号キー）を確定します。

- 以下のメッセージが表示されたら、ルーターとの接続成功です。本体のWi-Fiインジケータが点灯します。



- 以下のメッセージが表示されたら、ルーターとの接続失敗です。正しいパスワードを入力してください。



### メモ

- ルーターのパスワード（暗号キー）は多くの場合、ルーター本体のラベルや取扱説明書などに記載してあります。
- 接続に成功したルーターに関しては、2回目以降は本体のWi-Fiボタンを押すだけで、再接続が可能です。また、最後に接続した2件までのパスワードは本体に記憶されます。

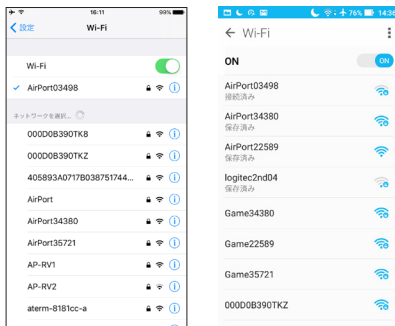
## スマートフォンなどと外部ルーターを接続する

1. 端末の《設定》→《Wi-Fi》を選択します。



[ iOS 端末の表示例 ] [ Android 端末の表示例 ]

2. 端末のWi-FiをオンにするとWi-Fi機器のSSID一覧が表示されますので、使用する外部ルーターのSSIDを選択してください。



[ iOS 端末の表示例 ] [ Android 端末の表示例 ]

3. 使用する外部ルーターのパスワードを入力します。スマートフォンと外部ルーターのWi-Fi接続が確立されます。

## スマートフォンからの本機のリモート操作

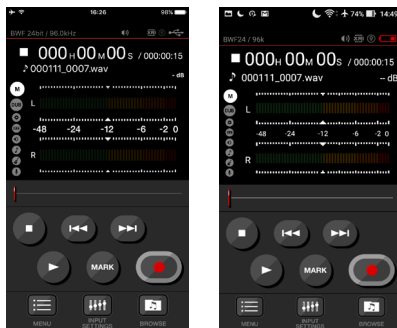
専用アプリケーション (DR CONTROL) は、本機と同じ表示画面となっており、ほぼ同じ操作で遠隔操作が可能です。本機の操作方法をご確認の上《DR CONTROL》アプリケーションをお使いいただくと、スムーズに操作することができます。

1. Wi-Fi接続が完了したら、スマートフォンなどにインストール済のDR CONTROLを起動してください。

### メモ

DR CONTROLは、常に最新のバージョンをご使用ください。

2. アプリケーションを起動させると以下のような画面が表示され、本機のリモート操作を行うことができます。



[ iOS 端末の表示例 ] [ Android 端末の表示例 ]

《DR CONTROL》アプリケーションの詳細な説明は、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) からダウンロードすることができる「TASCAM DR CONTROL 取扱説明書」をご参照ください。

## 本機からパソコンへのファイル転送

無料の専用ソフトウェア (TASCAM DR FILE TRANSFER) を使用するとパソコンへのファイル転送が可能です。


専用ソフトウェアの詳細な説明は、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができる「TASCAM DR FILE TRANSFER 取扱説明書」をご参照ください。



## こんなことをするには

- ボタン名称は、**HOME/MENU/STOP**のように表記します。
- 「ホーム画面から**HOME/MENU/STOP**ボタンを押して、**録音設定**メニューを選択し**プリレック**項目を選択する」という操作を「ホーム画面 → **HOME/MENU/STOP** → **録音設定** → **プリレック**」のように表記します。
- 複雑な操作の場合は、全部の操作は表記されていません。詳細の操作方法は、リファレンスマニュアルを参照してください。

分類	こんなことをしたい	機能名称	操作方法、使用するボタン/説明
基本操作	ホーム画面に戻る		<b>HOME/MENU/STOP</b> 操作に迷ったらホーム画面に戻ってください。
	録音する		ホーム画面 → <b>RECORD</b> → <b>RECORD</b> 設定した内容での録音を行います。
	再生する		ホーム画面 → <b>PLAY</b> 表示（選択）されているファイルを再生します。
	再生音量を調節する		ホーム画面 → <b>OUTPUT LEVEL (+ / -)</b> ヘッドホン、スピーカー等の音量を調節します。
	再生するファイルを選択する		ホーム画面 → <b>◀◀ / ▶▶</b> ファイル数が多い場合は、ブラウズ機能を使うと便利です。
録音	ファイルフォーマットを変更する		ホーム画面 → <b>HOME/MENU/STOP</b> → <b>録音設定</b> → <b>録音形式</b> 非圧縮 (WAV形式) または圧縮 (MP3形式) など、録音するファイル形式を指定します。
	ローカットフィルターを設定する	ローカットフィルター機能	ホーム画面 → <b>RECORD</b> → <b>F1</b> → <b>入力</b> → <b>ローカット</b> 低音のノイズなどを排除する機能です。周波数を選択してください。
	入力レベルを手動で調節する		ホーム画面 → <b>RECORD</b> → <b>INPUT LEVEL</b> メーターを見ながら振り切れないよう録音レベルを調節してください。
	入力レベルを自動で調節する	ピークリダクション機能	ホーム画面 → <b>RECORD</b> → <b>F1</b> → <b>入力</b> → <b>レベル制御</b> → <b>ピーク</b> 録音レベルオーバーとなった時に自動でレベルを下げる機能です。
	入力レベルを自動で調節する	リミッター機能	ホーム画面 → <b>RECORD</b> → <b>F1</b> → <b>入力</b> → <b>レベル制御</b> → <b>リミッター</b> 録音レベルの変更はせず、大きい音だけ圧縮してレベルオーバーを防ぐ機能です。
録音補助	録音中に目印（マーク）をつける	マーク機能	録音画面 → <b>F2</b> 再生時の目印となるマークをファイルにつける機能です。
	録音中に手動でファイルを切り換える	マニュアルトラックインクリメント	録音画面 → <b>F1</b> 曲の変わり目など、違うファイルに切り換えて録音継続したい場合に操作してください。
	録音開始の少し前から録音する	プリレック機能	ホーム画面 → <b>HOME/MENU/STOP</b> → <b>録音設定</b> → <b>プリレック</b> 録音待機状態から録音状態に移るのが遅れた場合に遅れを補完する機能です。
	セルフタイマーを使って録音する	セルフタイマー機能	ホーム画面 → <b>RECORD</b> → <b>F1</b> 自分の演奏を録音する場合に便利なセルフタイマー機能です。
	I-Oループ再生をする	I-Oループ再生機能	<b>シンダイヤル</b> → <b>🌀</b> → <b>F3</b> → <b>ループ</b> ひとつのファイル内で特定の区間を繰り返し再生できる機能です。

分類	こんなことをしたい	機能名称	操作方法、使用するボタン／説明
再生補助	再生速度を変更する	VSA機能	シーンダイヤル →  → F3 → 速さ 速度を変更して再生する機能です。
	音程を変えて再生する	キーチェンジ機能	シーンダイヤル →  → F3 → 音程 キーを変更して再生する機能です。
ファイル操作	ファイルの情報を確認する		ホーム画面 →  /MENU/■ → インフォメーション 録音された日付やファイルサイズなどを確認することができます。
	ファイルを削除する		ホーム画面 → F1 → F2 / F3 → F4 → ファイル消去 不要なファイルを削除できます。
	ファイルを削除する		ホーム画面 → F4 不要なファイルを削除できます。
	フォルダー内のファイルを一括で削除する		ホーム画面 → F1 → F2 / F3 → F4 → 全ファイル消去 フォルダー内にある全てのファイルを一括で削除できます。
	ファイルを分割する	ディバイド機能	ホーム画面 →  /MENU/■ → ツール → ファイル分割 1つのファイルを2つのファイルに分割する機能です。
本体設定	日時を設定する		ホーム画面 →  /MENU/■ → システム設定 → 日時設定 ファイルに書き込まれる録音日付などに使われる内蔵時計を設定します。
	スピーカーをオフにする		ホーム画面 →  /MENU/■ → ツール → スピーカー → 切 背面の内蔵スピーカーから音が出ないようにします。
	本体やカードの情報を確認する		ホーム画面 →  /MENU/■ → インフォメーション → カード情報 本体ファームウェアのバージョンや、カードの残り容量などを確認できます。
	電源のパワーセーブ機能の設定を変更する	オートパワーセーブ機能	ホーム画面 →  /MENU/■ → システム設定 → 自動電源制御 無操作時に自動で電源をオフにする機能です。
	バックライトの設定を変更する		ホーム画面 →  /MENU/■ → システム設定 → バックライト ディスプレイのバックライトに関する設定をします。
	ディスプレイのコントラスト調節を変更する		ホーム画面 →  /MENU/■ → システム設定 → コントラスト ディスプレイの表示の濃淡を設定します。
	電池の種類を設定する		ホーム画面 →  /MENU/■ → システム設定 → 電池タイプ 使用している電池の種類を選択します。残量表示の正確性に影響します。
	本体を初期設定に戻す	イニシャライズ機能	ホーム画面 →  /MENU/■ → システム設定 → 設定初期化 全ての設定を工場出荷時に戻します。
	microSDカードをフォーマットする	フォーマット機能	ホーム画面 →  /MENU/■ → システム設定 → カード初期化 カード初期化機能です。
	ファイル名の形式を設定する		ホーム画面 →  /MENU/■ → システム設定 → ファイル名設定 自動で付与されるファイル名の文字を変更できます。

## メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。  
DR-22WLでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
電池残量がありません	電池の残量がありません。電池を交換してください。
分割できません	ファイル分割 実行時に分割位置が適切ではありません。(曲の先頭、曲の最後)
カードエラー	カードを正常に認識できません。カードを交換してください。
カードがいっぱいです	カードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
MP3非対応の機能です	MP3ファイルの分割はできません。
同名ファイルがあります	ファイル分割 により作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内にすでに存在します。ファイル分割 を行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。ファイル分割 を行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
ファイル総数制限に到達	フォルダーとファイルの総数が制限値(5000個)を超えました。不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
ファイル名が不正です	ファイル分割 によりファイル名の文字数が200文字を超えました。ファイル分割 を行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。ファイル分割 を行う前にパソコンと接続し、198文字以下のファイル名に変更してください。
ファイルが見つかりません	ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
ファイルがありません システムを再構築します	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態でF4ボタンを押すと、システムファイルが作られます。
ファイルが 保護されています	リードオンリーファイルのため、削除できません。

メッセージ	内容と対処方法
フォーマットエラー SDを初期化します	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンでフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。フォーマットは、必ずDR-22WL本体で行ってください。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態でF4ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。フォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
間隔が短かすぎます	IN点(始点)とOUT点(終点)の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
SDカードエラー 交換してください	カードが正常でない可能性があります。カードを交換してください。
システムファイルエラー システムを再構築します	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。このメッセージが表示されている状態でF4ボタンを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
電池残量が少ないため Wi-Fiをオフにします	電池残量が少なくWi-Fi機能が使用できません。新しい電池に交換してください。
録音時間の制限に到達	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいはフォルダーとファイルの総数が制限値(5000個)の時に録音時間が24時間を超えました。
HBRエラー SDを初期化します	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態でF4ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。フォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
カードがありません	カードが挿入されていません。
ファイルがありません	再生が可能なファイルがありません。
動作対象外ファイル	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、リファレンスマニュアルの「パソコンと接続する」をご覧ください。
書き込み速度不足です	カードへの書き込みが間に合いませんでした。ファイルをパソコンへバックアップの上、フォーマットを実行してください。

その他のエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。

## トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

### 電源が入らない。

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違っただけでセットしていませんか？
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）の電源プラグおよびUSBコネクタがしっかりと差し込まれていますか？
- USBバスパワー接続しているときに、USBケーブルがしっかりと差し込まれていますか？
- USBバスパワー接続しているときに、USBハブを使用していませんか？

### 電源が自動的に切れてしまう。

- オートパワーセーブ機能が設定されていませんか？（リファレンスマニュアルの「各種設定および情報表示」の「電源のオートパワーセーブ機能の設定」）
  - 本機は欧州待機時電力規制（ErP）に対応しているため、ACアダプター・電池使用時にかかわらずオートパワーセーブ機能が動作します。オートパワーセーブ機能を使用したくないときは「OFF」に設定してください（工場出荷時には「30分」に設定されています）。

### 本体で操作できない。

- HOLD / 0/1 スイッチが「HOLD」にがセットされていませんか？
- USB接続になっていませんか？

### microSDカードを認識しない。

- microSDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

### 再生できない。

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。
- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。

### スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンをつないでいませんか？
- **スピーカー** 項目が「切」になっていませんか？
- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機出力レベル設定が最小になっていませんか？

### 録音できない。

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 録音レベルが低くなっていませんか？
- microSDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

### 入力レベルが低い。

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出力レベルが低くなっていませんか？

### 録音しようとする音が歪んで聴こえる。

- 入力レベルの設定が大きすぎませんか？
- リバーブがかかっていますか？

### 再生音が不自然に聴こえる。

- 再生のスピードを変えていますか？
- レベルコントロール機能が有効になっていませんか？
- リバーブがかかっていますか？

### ファイルが消去できない。

- パソコンで読み取り専用で設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

### パソコン上に本機のファイルが表示されない。

- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- USBハブを使っていませんか？
- 本機が録音中、または録音待機中になっていませんか？

### 接続ができない、あるいは、通信が途切れる。

- Wi-Fi機器の電源が入っているか、Wi-Fiがオンになっているか確認してください。
- Wi-Fi機器との距離が離れすぎていませんか？  
あるいは、間に壁や障害物などでさえぎられていませんか？  
Wi-Fi機器が本体の後面側にある場合、本機自身でさえぎっていることも考えられます。  
Wi-Fi機器や本機の位置を変えてください。
- 本機の電源を切り、再度本機の電源をオンにしてください。
- Wi-Fi機器の「DR-22WL」の登録を解除し「Wi-Fi機器との接続を行う」の操作を行ってください。

## 仕様

### 定格

#### 記録メディア

- microSDカード (64MB ~ 2GB)
- microSDHCカード (4GB ~ 32GB)
- microSDXCカード (48GB ~ 128GB)

#### 録音再生フォーマット

- WAV : 44.1k/48k/96kHz, 16/24ビット
- MP3 : 44.1k/48kHz, 32k/64k/96k/128k/ 192k/256k/320kbps

#### チャンネル数

- 2チャンネル (ステレオ)

### 入出力

#### MIC/EXT IN 端子 (プラグインパワー対応)

- コネクター : 1/8" (3.5mm) ステレオミニジャック

#### Ω /LINE OUT 端子

- コネクター : 1/8" (3.5mm) ステレオミニジャック

#### 内蔵スピーカー

- 0.3W (モノラル)

#### USB端子

- コネクター : Micro-Bタイプ
- フォーマット : USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

### オーディオ性能

#### 周波数特性

- 20-20kHz +1/-3dB  
(EXT IN to LINE OUT, Fs44.1kHz, JEITA)
- 20-22kHz +1/-3dB  
(EXT IN to LINE OUT, Fs48kHz, JEITA)
- 20-40kHz +1/-3dB  
(EXT IN to LINE OUT, Fs96kHz, JEITA)

#### 歪率

- 0.05%以下  
(EXT IN to LINE OUT, Fs44.1k/48k/96kHz, JEITA)

#### S/N 比

- 92dB以上  
(EXT IN to LINE OUT, Fs44.1k/48k/96kHz, JEITA)

注) JEITA : JEITA CP-2150準拠

### 録音時間

ファイルフォーマット (録音時の設定)		容量
		4GB
WAV16ビット (STEREO)	44.1kHz	6時間17分
WAV24ビット (STEREO)	96kHz	1時間55分
MP3 (STEREO/MONO) 320kbps	44.1kHz/48kHz	27時間46分

- 上記録音時間は理論値であり、ご使用のmicroSD / microSDHC / microSDXCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD / microSDHC / microSDXCカードに可能な録音合計時間です。

### Wi-Fi

#### 無線規格

- IEEE 802.11b/g/n準拠 (2.4GHzのみ)

#### 無線通信モード

- 直接接続モード  
簡易アクセスポイント (Limited AP)
- ルーター経由モード  
インフラストラクチャー (Station)

#### セキュリティ

- WPA2-PSK (WPS2.0対応)

## 一般

### 電源

単3形電池2本（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）  
パソコンからのUSBバスパワー  
専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E、別売）

### 消費電流（USBバスパワー）

0.5A（最大時）

### 電池持続時間（連続使用時）

#### ●アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、44.1kHz、16ビット	約17.5時間	内蔵ステレオマイク入力時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約19時間	内蔵スピーカー使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

#### ●ニッケル水素電池（eneloop）使用時

	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、44.1kHz、16ビット	約13.5時間	内蔵ステレオマイク入力時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約14.5時間	内蔵スピーカー使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

### メモ

電池持続時間（連続動作時）は、お使いの記録メディアにより記載された値から変動することがあります。

### 外形寸法

52.2 x 155 x 36.6mm（幅 x 高さ x 奥行き）

### 質量

170g / 123g（電池を含む / 電池を含まず）

### 動作温度

0～40℃

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。
- 詳細仕様はリファレンスマニュアルに掲載しています。

## 無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼に出来ない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
  - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
  - (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- (6) メンテナンス
- (7) 本書の提示がない場合
- (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- \* この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- \* 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。



# 保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名 および 形名	DR-22WL		
機番			
保証期間	本体	1年	

お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前		
	ご住所		

販売店			
電			

**見本**

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

## ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501/04-2901-1033